

これから男性と女性の英語での会話を放送します。この2人の会話のあとに続く英文として最も適切なものを、A、B、C、Dの中から選び、その記号に○をつけなさい。

- ☆ Excuse me? Do you have a pen?
- ★ Yes, I do.
- ☆ I don't have a pen.
- Can I use your pen?
- ★

- A : Sure.
- B : You're welcome.
- C : Me, too.
- D : Yes, I can.

解答類型	割合 (%)		解答類型	割合 (%)	
○ A	52.7	×	D	36.3	
×	B	5.9	×	上記以外の解答	0
×	C	4.8	—	無解答	0.2

リスニング問題
(英語での問いかけに対する適切な応答)
通過率 52.7%

年度	平成 27 年度	平成 28 年度
通過率 (%)	39.2	52.7
主な誤答 (%)	52.6 (Yes, I can.)	36.3

- ・ 依頼としての **Can I~?** に対して、**Yes, I can.** と答えた。
- ・ 「**Can I~?** に対しては、**can** で答える」というパターンで捉えている。

活動のつながり

【小学校外国語活動】

コミュニケーションに関する事項

- ・ 外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験すること。
- ・ 積極的に外国語を聞いたり、話したりすること。
- ・ 言語を用いてコミュニケーションを図ることの大切さを知ること。

【中学校外国語科】 聞くこと

- ・ 質問や依頼などを聞いて適切に応じること。

第5学年

コミュニケーション
の働きの例

「好きなものを伝えよう」
Thank you.
You're welcome.
(Hi, friends! 1L4)

第6学年

コミュニケーション
の働きの例

「オリジナルの物語を作ろう」
Here you are.
Thank you.
(Hi, friends! 2L7)

中学校第1学年 言語の働きの例

A: Can you close the door?
B: Sure.
A: Can I use your camera?
B: I'm sorry, you can't.

中学校第2学年 言語の働きの例

A: Would you like anything else?
B: No. That's all. Thanks.
A: Could you tell me the way to the station?
B: Sure.

中学校第3学年 言語の働きの例

A: Could you tell me how to get to Fukuoka Airport?
B: Sure.
A: May I take your order?
B: Yes, please.

これまでの報告書で提案してきたこと

- 相手からの質問や指示、依頼、提案等の場面の設定を工夫し、相手の意図を正しく理解し、適切に応じることができるようにしましょう。(H27 学力調査報告書より)

- (例) ① Can you open the door? — Yes, of course. / Sure. / OK.
 ② Shall I take you to the station? — Yes, please.
 ③ Why don't you have dinner with us? — Thank you! I will.
 ④ Would you like something to eat? — No, thank you. I'm full.

提案 場面や状況によって相手の意をくんで応答する活動を意識して仕組みましょう。

- 日常のコミュニケーションにおいては、特定の場面や状況にふさわしい表現があり、言語活動の指導に当たっては、具体的で分かりやすい場面や状況を設定することが必要です。断るときには理由を言うようにするなど、相手の気持ちをくんだ応答の仕方を考えさせましょう。

(例) Can I open the window? It's hot. — Sure.
 Can you help me with my homework? — Sorry, I can't. I'm busy right now.
 Can you open the door for me? — OK. I'm coming.